

令和元年度 牡鹿半島周辺・以北_貝毒原因プランクトン出現状況 (NO.1)

1 調査月日 令和元年5月9日

2 調査地点 右図の4定点

3 概要 (詳細は下表のとおり)

1) 水温: 表層で9.9~11.6°Cの範囲にあった。

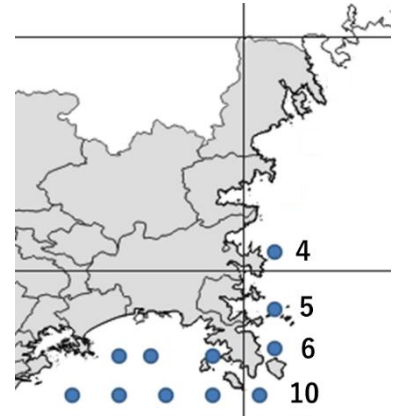
2) 貝毒原因プランクトン出現数

・麻痺性貝毒原因プランクトン (*Alexandrium* spp.)

出現数は、30~150 細胞数/L でした。

・下痢性貝毒原因プランクトン (*Dinophysis. acuminata*) は、

10~790 細胞数/L、*D. fortii*は90~250 細胞数/L 確認されました。



調査地点図

調査結果表(4定点)

St.	時間 水深 (m)	測定層 (m)	透明度 (m)	水温 (°C)	塩分	貝毒プランクトン出現数(細胞数/L)						
						<i>Alexandrium</i> spp.		<i>D. fortii</i>		<i>D. acuminata</i>		他 <i>Dinophysis</i> 属
						5月9日		5月9日		5月9日		
4	12:48 84.0	0	8.0	10.8	-	30	-	90	-	110	-	20
		10		9.0	33.5							
		20		9.3	33.8							
		30		8.9	33.8							
5	12:02 31.0	0	8.0	9.9	-	130	-	250	-	10	-	20
		10		9.3	33.4							
		20		8.6	33.6							
		30		8.4	33.7							
6	11:28 66.0	0	8.0	10.0	-	70	-	160	-	30	-	-
		10		9.0	33.5							
		20		8.4	33.6							
		30		8.1	33.7							
10	10:45 84.0	0	4.0	11.6	-	150	-	190	-	790	-	50
		10		9.7	33.4							
		20		8.9	33.5							
		30		8.5	33.7							
		40		8.3	33.7							

※貝毒プランクトンサンプルは0~20m層における柱状採水